

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

この研究の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。

なお、この研究の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の試料（例：血液など）や診療情報（例：カルテの情報など）をこの研究に使ってほしくないと思われた場合にも、下欄の問い合わせ担当者までその旨をご連絡下さい。

試料・情報の利用目的及び利用方法	● 研究の名称 帝王切開術における脊麻後低血圧予防目的の輸液戦略 当院における後ろ向き研究
	● 研究の対象 2020年1月から2023年5月の期間に、脊髄くも膜下麻酔下に帝王切開術を受けた患者さん 300名
	● 研究の目的 帝王切開術の麻酔は脊髄くも膜下麻酔（胸から下の痛みを取り除き、意識はある状態とする麻酔）がもっとも広く行われています。麻酔中にお母さんの血圧が下がるとお腹の赤ちゃんが苦しくなってしまうため、血圧を維持するために輸液（点滴で水分や電解質を補く事）が行われますが、輸液の量が多すぎると術後のお母さんの回復の妨げになることが心配されます。そこで、当院で帝王切開術を受けた患者さんのカルテを調べ、輸液を短時間で多く投与された患者さんとそうでない患者さんで術後排便までの日数を比較するために研究を行います。
	● 研究の期間 研究機関の長による実施許可日から2024年3月まで
	● 利用又は提供を開始する予定日 研究機関の長による実施許可日
利用し、又	● 他の機関に提供する場合には、その方法 この研究では外部へ試料・情報を提供しません。
	● 研究に使用する試料・情報

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

は提供する試料・情報の項目	カルテと麻酔の記録から，妊娠週数，手術中の輸液量，血圧を上げる薬の投与量，赤ちゃんの元気さの指標，術後排便までの日数など
利用する者の範囲	●機関名および責任者名 浜松医科大学 秋永智永子
試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称	浜松医科大学 麻酔蘇生学講座 秋永智永子
試料・情報の利用又は他の研究機関への提供の停止（受付方法含む）	あなたの試料または情報を研究に使用することや、他の研究機関に提供することを望まない場合には、問い合わせ先まで連絡をいただければ、いつでも使用や提供を停止することができます。連絡方法は、以下 問い合わせ先 をご確認ください。
資料の入手または閲覧	この臨床研究の計画や方法については、あなたのご希望に応じて資料の要求または閲覧ができます。あなたがご自分の研究結果を知りたいと希望される場合は、研究担当者にその旨をお伝えいただければ、他の研究対象者に不利益が及ばない範囲内で、あなた自身にあなたの結果をお伝えします。希望された資料が他の研究対象者の個人情報の場合には、資料の提供または閲覧はできません。
情報の開示	あなたご自身が研究の概要や結果などの情報の開示を希望される場合は、他の参加者に不利益が及ばない範囲内で、原則的に結果を開示いたします。しかし、情報の開示を希望されない場合は、開示いたしません。 また、本研究の参加者以外の方が情報の開示を希望する場合は、原則的に結果を開示いたしません。
問い合わせ先	〒431-3192 浜松市東区半田山一丁目20番1号 浜松医科大学

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

	部署名： 麻酔蘇生学講座 担当者： 秋永智永子 TEL： 053-435-2111 E-mail： cnaka@hama-med.ac.jp
--	--